

社会貢献活動支援士に求められるコンピテンシー

◆ マインド的コンピテンシー（志のコンピテンシー）

- ・ 社会貢献意識 自らが社会の一員として生かされており、常に誰かの為に行動しようという意識。
- ・ 防災意識 いつ起こるか分からない災害に対し、常に心構えを持っていること。
- ・ 社会への関心 自分の身の回りや地域、国、世界で何がどう起きているかを知り、自分に何ができるかを考える意識。
- ・ リーダーシップ 社会組織の中で他者をより良い方向へ導こうとする意識及びその資質。
- ・ フォロワーシップ リーダーを補完し、正しく目的を遂行しようとする意識及びその資質。
- ・ チャレンジ精神 困難なことに恐れず取り組もうとする意識。
- ・ 使命感 特定の目的へ向けて行う仕事をやり遂げねばならないと感じる意識。
- ・ 責任感 自らの行いとその結果に対して責任を持つ意識。

◆ 成果を挙げるためのコアコンピテンシー（実行するコンピテンシー）

- ・ 課題認識力 特定の成果に向けて何が必要なかを正しく認識する能力。
- ・ 課題形成力 認識した課題を分析し、論理的にその要素を組み立てる能力。
- ・ 課題計画力 形成された課題に取り組むに当たり、最適な方法で成果を挙げるための計画を作る能力。
- ・ 課題遂行力 成果へ向け、計画に則って活動を行う能力。
- ・ 課題管理力 活動の進捗を調整・管理し、また予期せぬ阻害要因を適切に排除する能力。

◆ 受容的コンピテンシー（受け容れるコンピテンシー）

- ・ 主体性・積極性 物事を常に自分と関連付け、進んで取り組もうとする意欲。
- ・ 知識習得力 入ってくる情報を取捨選択し、関連付けて学ぶ力。
- ・ 情報収集力 量と質を備えた情報を集める力。
- ・ 論理的思考力 物事の原因と結果を正しく認識するための試行を行う力。

◆ 応用的コンピテンシー（活用するコンピテンシー）

- ・ 知識活用力 得た（蓄えた）知識を仕事や生活の場で利用する能力。
- ・ 情報活用力 得た（蓄えた）情報を仕事や生活の場で利用する能力。
- ・ 科学活用力 論理的思考によって得た方法論を現実に還元する能力。
- ・ 創造力 目的達成に役立つ独自の価値・方法を生み出す能力。
- ・ 表現力 事実の伝達、自らの考え、新たな価値について正しく他者に伝える能力。
- ・ 大局的に活動する能力 断片的な事象や情報に拘泥せず、常に最終目的を意識しながら活動する能力。

◆ 対人・集団的コンピテンシー（和のコンピテンシー）

- ・ コミュニケーション力 他者の言わんとすることを正しく理解し、また他者に対して自分の考えを正しく伝える能力。
- ・ 対人関係力 誰に対しても適切な関係を築ける能力。
- ・ 協働力 共通の目的を達成するために他者と補い合いながら活動する能力。
- ・ 対人折衝力 利害が対立する相手との対話によって適切な結論を導く能力。
- ・ 対人協調力 共通の目的を達成するために他者が行う活動と自分の活動を調整する能力。
- ・ 組織把握力 物事に関わる（携わる）人や団体が、どのような関係で成り立っているか、またその中で自分はどこに位置付けられるかを的確に把握する能力。
- ・ 対人育成力 自らの経験や知識を他者へ正しく伝え、伝えられた者の能力として発揮されるように導く能力。
- ・ 思いやり 他者の身の上や心情に気を配り、その気配りに基づいて行動すること。
- ・ 倫理意識 自分や自分の属する社会における思考・経験を反映し、行動を律する価値観を持つこと。